

平成19年5月8日

## 少数台数のリコール届出の公表について（平成19年4月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成19年4月は下記のとおり6件の届出がありましたので、公表します。

## 1. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月10日	1857	車名：三菱 型式：KL-MP35JK 他 通称名：ふそうエアロスター	73	平成16年11月26日～ 平成18年12月5日
不具合の部位等	燃料タンクを固定する金具（タンクサポート）の補強部材に誤品を装着及び当該タンクサポートの溶接が不適切なものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、車両振動等により、当該タンクサポートに亀裂が発生し、最悪の場合、燃料タンクが脱落するおそれがある。			

## 2. 届出者：フォルクスワーゲングループジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月12日	外1396	車名：ベントレー 型式：GH-BLF 他 通称名：アルナージT 他	40	平成17年3月17日～ 平成18年6月20日
不具合の部位等	ホイールボルトの加工が不適切なため締結力が不足し、ボルトが緩むことがある。そのため、そのまま使用を続けると、ボルトが外れ、最悪の場合、ホイールが脱落するおそれがある。			

## 3. 届出者：三菱自動車工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月19日	1872	車名：三菱 型式：GBD-U61T 他 通称名：ミニキャブ 他	94	平成19年3月6日～ 平成19年3月9日
不具合の部位等	後輪用主ブレーキのホイールシリンダにおいて、ピストンの加工が不適切なため、外径が小さく加工されたものがある。そのため、シリンダとピストンの隙間が広がっており、ブレーキを操作すると、シールを隙間に噛み込んで損傷させることがあり、最悪の場合、ブレーキ液が漏れ、制動力が低下するおそれがある。			

## 4. 届出者：三菱自動車工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月19日	1873	車名：三菱 型式：KB-P05V 他 通称名：デリカ	14	平成7年12月4日～ 平成11年3月4日
不具合の部位等	後部にパワーゲートを装着した車両において、スペアタイヤハンガーとリヤブレーキパイプとの隙間が不足している。そのため、段差等乗り越えるような走行をした時に、当該ハンガーとパイプが干渉し、パイプが損傷することがあり、最悪の場合、ブレーキ液が漏れて制動力が低下するおそれがある。			

5. 届出者：本田技研工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月25日	1877	車名：ホンダ 型式：BA-MC31 通称名：ホーネット	30	平成18年 7月12日～ 平成18年 7月13日
不具合の部位等	スピードメータギアボックスとドライブsprocketを接続する樹脂製ジョイントに誤品を組付けたものがある。そのため、そのまま使用を続けると、ジョイント内面が早期に摩耗し、ドライブsprocketの回転を速度計に伝達できなくなり、速度計が正常に作動しなくなるおそれがある。			

6. 届出者：KTM JAPAN 株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月27日	外1403	車名：KTM 型式：990DUKE VD949 通称名：990DUKE	36	平成18年 2月 9日～ 平成18年 3月27日
不具合の部位等	前輪の主制動装置において、ブレーキパッドの製造工程が不適切なため、パッドとバックプレートが剥離するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、パッドがキャリパーから脱落し、最悪の場合、ブレーキが利かなくなるおそれがある。			

[参考]

平成19年4月の リコール届出総件数		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	23件	13件	10件(%)
輸入車	6件	4件	2件
計	29件	17件	12件

(問い合わせ先)

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課  
リコール対策室 中村・木内  
電話 03-5253-8111(代表) (内線42352・42354)

※国産車の10件中6件については、4月6日に公表済みです。  
(R1842,R1843,R1859,R1860,R1861,R1862)